

2019（令和元）年度 事業実績報告書

2019（平成31）年4月1日から2020（令和2）年3月31日まで

特定非営利活動法人 おきなわCAPセンター

1 事業の成果

2019年度は、提供事業、学習啓発事業、ネットワーク事業を通じて子ども支援に携わる団体や関係機関との連携を一層深めることができた年となった。提供事業としては、思春期向けプログラムが市町村において定着し、那覇市、宜野湾市、うるま市、北中城村で継続して実施している。宜野湾市、北中城村においては、小学生向けプログラムも継続実施することもできた。また、宜野湾市および浦添市からは、新規事業を受託し、暴力防止に向けた講座等を開催することができた。沖縄県からの受託事業である子どもの虐待防止のための講演会・研修会および児童養護施設職員向けの研修会は8年目となり、県内での子ども虐待防止および社会的養護の子ども支援に向けた意識・啓発を一層浸透させることができた。その他、沖縄県より児童虐待対応職員等法定義務研修を継続受託し、更なる発展の1年となった。

(1) 子どもへのCAPワークショップ（暴力防止プログラム）等提供事業

40回のワークショップ提供

2019年度は、子どもワークショップを40回提供することができた。継続している市町村との協働事業として、8年目の北中城村（児童虐待防止緊急対応強化事業）、6年目の宜野湾市（子どもへの暴力防止事業）も順調に継続されている。宜野湾市においては4小学校で子どもワークショップを実施することができた。また、7年ぶりとなる中高生ワークショップも通信制高等学校で実施。行政だけではなく、PTAや学校からの依頼で各プログラムを実施することができた。

デートDVの予防・啓発の取り組み

思春期の人間関係づくりを考える中高生向け「思春期の心と体プログラム」が年々広がり続け、2019年度は県内広域で41回実施することができた。デートDV防止の取り組みとして、那覇市（「思春期の心と体」のための意識啓発事業）では、市内全17中学校、宜野湾市（「デートDV予防啓発出前講座」）においても市内全4中学校にて実施。同プログラムを通して、思春期の子どもが「自分の心と体を大切にする」視点と、デートDVについての知識と相談先を伝えることができた。那覇市、宜野湾市、うるま市、北中城村に加え、今年度は新たに浦添市からも受託し、県内において広がりを見せている。その他、国立、私立の中学校、通信制高等学校等、40校、1施設、7000人を超える中高生にCAPの考えをベースにつくられた思春期プログラムを届けることができた。

CAP式安全プログラム

おきなわCAPセンターが開発した「安全講話」は、楽しい・具体的・自信がつく不審者対策講話として好評を得ている。2019年度も継続してうるま市の幼稚園で実施した他、学校単独の申し込みで小学校でも実施することができた。親子で受講できるプログラムとしてニーズは高い。

(2) おとなへのCAPワークショップ（暴力防止プログラム）等提供事業

33回のワークショップ提供

2019年度は、おとなワークショップを、保育園、こども園、小学校、市町村、児童養護施設等、33回提供することができた。保護者と教職員合同のおとなワークショップ開催や、行政からの教職員研修等、県内各地域で様々な立場のおとなに向けて、CAPの考え方と子どもの人権、暴力防止について伝えることができた。

その他、教育実習前の大学生向け「安全講話（副題：生徒の安全を守る）」も、講義と実技の2本立ての充実したワークショップとして高い評価で継続されている。

児童養護施設等へのワークショップ

沖縄県から「児童養護施設職員等資質向上支援事業」の受託を受け職員向けの研修を実施。7年目となる今年度は、「CAP式性の多様性」プログラムを新たに開発し、多様な性を施設としてどのように受け入れ、支援していくか具体的な対応方法について情報提供した。児童自立支援施設においては「思春期の心とからだプログラム」を実施し、互いを尊重する人間関係の在り方と、暴力防止・デートDV予防について子どもたちと職員合同で学び合う機会を持った。

(3) ワークショップ提供のための人材育成事業

県内外への研修派遣

県内で行われた各種研修会、講演会へメンバーを派遣。それぞれがスキルアップに努め、ワークショップ実施の際や、講座企画の際に学びを取り入れ活用することができた。また、県外研修については、北海道でのCAPスペシャリスト養成講座への派遣の他、沖縄県子ども虐待防止推進事業の一環として、兵庫県で開催された日本子ども虐待防止学会にも職員を派遣することができた。

定例会・練習会

定例会は、ワークショップの振り返りとプログラム内容の確認等、メンバーにとってスキルアップと交流を目的に実施している。今年度は10回実施し、ワークショップやトークタイムについて意見交換しながら疑問や課題を解消し、ステップアップに繋げることができた。練習会については、ワークショップ開催前等、必要に応じて随時実施し、新旧メンバーでの情報交換と、CAPスペシャリストとして質の安定を保つことができた。

(4) 子どもへの暴力防止についての学習・啓発事業

子ども虐待防止推進事業

沖縄県から受託し8年目となり、子ども虐待問題について広く県民に身近な問題として意識付けすることができている。2019年度は、5市町村5か所で講演会を開催。講演内容だけではなく、運営についても周囲から高い評価を得ることができた。講師はNPO法人ピルコン理事長・染矢明日香さん、漫画家・家族心理臨床家 団士郎さん、エンパワメントセンター主宰・森田ゆりさんを招聘し開催した。どの会場においても大盛況の講演会となった。

宜野湾市子育て支援プログラム事業

今年度宜野湾市より新規に受託し、「宜野湾市子育て講座」を週1回の4回連続講座を1クール(市の例年企画)とし、8月と2月の2回開催した。CAPの理念を基本としたプログラム構成から講師まで、おきなわCAPセンターメンバーで行った。初回は広報が遅く定員割れであったが、2回目は定員をオーバーする申込みがあった。参加率も徐々に減ると言われる最終回においても1回目93%、2回目100%と高く、内容が参加者に大変好評であった。また、感想には「エンパワメントされた」という内容が多く参加者から得られた。CAPの理念が育児講座の中で浸透し、自己肯定力、周りにつなげる力、相談する力を育む場となっている。地域の子育て支援の一助となるプログラムを提供することができた。

浦添市男女共同参画推進講座

浦添市より新規に「男女共同参画推進講座」の委託を受けて全4回開催。1回目は当センターCAPスペシャリストによる「DV等暴力の防止に関する講座」、2回目は特別支援学校教員安里瑞穂さん、邦夫さん夫妻による「男性の家事・育児講座」、3回目は精神科医長田清さんによる「女性の再就職講座」、4回目はしんぐるまざあず・ふおらむ沖縄代表・秋吉晴子さんと娘千國さんによる「ひとり親の現状・自立支援講座」を実施した。参加者のアンケート集計の結果、どの回も満足度の高い講座を提供することができた。

(5) 地域ネットワーク事業

行政、民間団体とのネットワーク強化

地域ネットワーク事業は例年通り、副代表および事務局長が「沖縄県子ども子育て会議」、「那覇市要保護児童対策協議会代表者会議及び実務者会議」、「沖縄県子どもの未来県民会議」など各種会議に出席し、子どもを支援する関係機関との連携を図った。また、以前より参加していた「九州・沖縄子どもネットワーク会議」では、実行委員会議の他、イベント当日は運営にも積極的に参加し、おきなわCAPセンターの広報活動および他団体との連携も行った。

インターンシップ、フィールドワーク等の受け入れ

那覇看護専門学校からインターンを受け入れ、学生たちにCAPの活動内容や子どもへの虐待防止等について説明を行い、子どもの人権と暴力防止について伝えた。また、思春期の人間関係とデートDV予防について理解を深めてもらうために、中高生向けのプログラムを体験してもらい、更にはプログラムを受講した中学生のアンケート集計をしながら、子どもたちの気持ちに寄り添う支援の方法を一緒に話し合った。ぐしかわ看護専門学校のフィールドワークについては、事務所移転の都合上、こちらから学校へ出向き、将来医療現場に携わる学生たちへエンパワメントの考え方、支援の在り方、CAPの理念と活動を伝えることができた。

児童養護施設職員等資質向上支援事業

CAPワークショップ提供（詳細は提供事業に記載）の他、外部講師を起用し支援ケースについて検討する、SV（スーパーヴァイズ）研修を実施した。講師には前年度も起用した元県職員の砂川純子さん、平安病院の勝連啓介さん、沖縄国際大学講師の野村れいかさんを起用し実施した。臨床経験を元に支援方法を提示することは、参加者にも非常にわかりやすく、好評であった。また、施設側のニーズに応え性教育に関する情報提供を行うため、リアライズYOKOHAMAの橋本明子さんを迎え、施設職員だけではなく子どもたち向けにも性教育の講話を開催。さらには、思春期・青年期理解と支援を目的とし、宇部フロンティア大学臨床教授の小栗正幸さんを講師に研修会も開催し、より専門性を高める情報提供を行うことができた。

児童虐待対応職員等法定義務研修

昨年度より沖縄県から受託されている本事業では、主に市町村の要保護児童対策地域協議会の運営を行っている市町村職員を対象とした「要保護児童対策調整機関専門職研修（以降：要対協研修）」および児童相談所の職員を対象とした「児童福祉司任用後研修」を実施。要対協研修の講師には、県内講師として元県職員の砂川純子さん、佐和田ゆかりさん、沖縄大学教授・山野良一さん、琉球大学准教授・城間園子さん、沖縄国際大学講師・野村れいかさん、沖縄県コザ児童相談所所長・後野哲彦さん、沖縄市役所課長・我如古直哉さんを招聘して行った。県外講師には、日本大学准教授・鈴木秀洋さんを招聘した。任用後研修においては、県内講師として元県職員の砂川恵正さん、児童養護施設協議会会長・玉城孝さん、弁護士の横江崇さん、松山清一郎さんを招聘した。県外講師としては、他事業で起用した森田ゆりさんの研修会に本研修会を合同で実施した。合同実施については、県外講師の西南学院大学教授・安部計彦さん、子どもの虹情報研修センター研修部長・川松亮さんを招聘した研修会も行い、要対協研修及び任用後研修を合同で実施することにより、相互交流の場を提供することにもつながった。

ご入学おめでとう大会への講師派遣等

沖縄タイムス社主催「ご入学おめでとう大会」（うるま市）へメンバーを派遣して、新1年生とその保護者へ「自分を大切にすること」というテーマで講話。新しい環境に入る前の不安な気持ちを和らげるとともに、子どもの気持ちを受けとめ、話を聴くことの大切さを伝えた。

Spring 共催#MeToo 刑法性犯罪改正キャンペーン

性暴力のない社会を目指す一般社団法人 Spring の全国キャンペーンの趣旨に賛同し、刑法性犯罪の残された課題や性暴力を取り巻く現状を変え、刑法性犯罪を改正することを目的とし、共催した。子どもと女性への暴力をなくすために様々な機関や団体、個人と繋がり、マスコミ等を通じてこの問題を社会に発信することができた。

てい子与那覇トゥーシーさん講演会および交流会

あい女性会議実行委員会主催の「児童虐待、女性の人権について」の講演会に運営サポートとして事務局を派遣。渡米し50年余りになる海外のウチナーンチュてい子与那覇トゥーシーさんが、長年アメリカで人権が尊重され暴力のない社会を目指して取り組んできた活動に関する報告がなされた。また、交流会も開催し、てい子さんと ICAP の活動等について、新旧メンバー共に改めて知る機会となった。

(6) 会報等の発行事業

活動の報告を兼ねた『CAP つうしん』つうしんを2回（7月と1月）発行し、会員と関係機関へ届けた。また、インターネットを活用して、ホームページとフェイスブック、事務局長ブログを随時更新し、講座や講演会、ワークショップの案内や報告を行うなどの情報発信に努めた。

そのほかメディア：マスコミ等への対応

機関紙『けーし風』へ、子ども支援に関する原稿を寄稿した他、自治問題に関する話題に対し、取材依頼があった際には、適宜対応を行った。

(7) その他、目的を達成するために必要な事業

なし

特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施場所	従事者数 (人)	受益対象者 (人)	支出額 (千円)
子どもへのCAPワークショップ (暴力防止プログラム) 提供事業	小学生ワークショップ	32回 ・ 宜野湾市：4校 嘉数(1年)、普天間(3年、4年)、大謝名(特支)、普天間第二(特支) ・ 北中城村：2校 島袋小(2年・5年)、北中城小(2年・5年) ・ 他：1校 八重瀬町立白川小(6年)	146	1180	5,921
	就学前ワークショップ	5回 相愛幼稚園、つなぐ保育園、キリン保育園、童夢認定こども園(2クラス)	31	380	
	中高生ワークショップ	1回 星槎国際高校	6	51	
	スペシャルニースプログラム	—	0	0	
	その他(施設、学童等)	2回 児童養護施設愛隣園(就学前・小学生)	6	73	
	思春期プログラム	41回 ・ 那覇市立中学校：17校全1年(石田、石嶺、上山、小禄、金城、神原、鏡原、古蔵、首里、城北、仲井間、那覇、松島、松城、真和志、安岡、寄宮) ・ 宜野湾市立中学校：4校(嘉数1年、宜野湾3年、普天間3年、真志喜3年) ・ 北中城村立中学校：1校(北中城1年) ・ うるま市立中学校9校※10回(あげな2年・1年、石川3年、伊波1年、具志川1年、高江洲1年、与勝第二1年、与勝1年、彩橋、津堅) ・ 浦添市立中学校：5校全1年(浦添、神森、港川、浦西、仲西) ・ 私立中学校：1校(興南1年) ・ 国立中学校：1校(琉大附属1年) ・ 通信制高校：1校(星槎国際1~3年) ・ 児童養護施設：1か所(愛隣園中高生)	84	7223	
安全講話	2回 名護市立久辺小学校 うるま市立赤道幼稚園	6	305		
おとなへのCAPワークショップ	14回 ・ 保育園：2か所(つなぐ、緑ヶ丘) ・ 幼稚園：3か所(相愛、慈愛、平安) ・ 認定こども園：3か所(ほるとのき、はるゆめ、童夢)	33	419		

アップ 提供事業		・小学校：6校 宜野湾市立小学校：4校（普天間、 嘉数、大謝名、普天間第二） 北中城村立小学校：1校（島袋） 八重瀬町立小学校：1校（白川）			
	教職員ワー クショップ	7回 星槎国際高校、名護市生徒指導連絡協議 会、相愛幼稚園、沖縄県教育庁、久米島 町、キリン保育園、北中城小学校	17	280	
	その他 連携機関、 大学、児童 養護施設等	12回 ・連携機関：10か所 （なは女性センター、沖縄市男女共同参 画センター、浦添市ハーモニーセンタ ー、うるま市男女協働参画センター、嘉 手納町こども家庭課、私立幼稚園連絡協 議会、中部地区児童館連絡協議会、南城 市要保護児童対策地域協議会、里親会×2 回、トゥムヌイ福祉会） ・大学：1か所（沖縄国際大学）	28	409	
	主催ワー クショップ	—	0	0	
	本の販売	適宜			
人材育成 事業	研修派遣	県内 4回 ・相談員基礎研修（上野） ・性の多様性研修（井形） ・エンパワメントとレジリアンス研修（井 形） ・人権教育指導者研修（井形）		4	89
	研修派遣	県外 2回 ・CAP スペシャリスト養成講座（4、5月・安 里） ・日本子ども虐待防止学会（12月・上野）		2	
	内部研修	2回 ・トークタイム研修 ・性の多様性研修		13	
	定例会	10回		60	
子どもへ の暴力防 止につい ての学習 啓発事業	公開講座	0回			4,027
	沖縄県子ど も虐待防止 推進事業	5回 11月 性教育（名護市、うるま市） 家族療法（宮古島市、石垣市） 2月 子ども虐待とDV（糸満市）	36	652	
	宜野湾市子 育て支援プ ログラム事 業	2回 ・8月1日、8日、22日、29日（4コマ） ・2月5日、12日、19日（3コマ）	23	151	
	浦添市男女 共同参画推	4回 ・11月子ども虐待とDV ・12月子育ての中の性教育	16	160	

	進講座	・1月解決志向を使って目標づくり ・2月ひとり親家庭の現状と必要な支援			
地域ネットワーク事業	地域ネットワーク会議	17回 ・那覇市要保護児童対策地域協議会代表者会議及び実務者会議（宮国3回） ・沖縄子ども未来県民会議（上野1回） ・沖縄県子ども・子育て会議（上野2回） ・九州・沖縄地区 子ども支援ネットワーク 交流学習会（上野10回） ・なは女性センター会議（事務局1回）	31	—	7,476
	インターン受け入れ	4回 ・那覇看護専門学校（3回） ・ぐしかわ看護専門学校（1回）		22	
	児童養護施設職員等資質向上支援事業	32回 ・性の健康教育（4施設） ・思春期青年期理解（1回） ・SV研修（13回） ・CAPワークショップ（9施設）	27	567	
	児童虐待対応職員等法定義務研修	39コマ ・要対協研修（全19コマ） 9月、11月開催 ・任用後研修（全20コマ） 9月開催、11月開催、2月開催	117	1520	
	ワンストップ支援センター相談支援員養成講座	24コマ ・前期12コマ 10月、11月、12月開催 ・後期12コマ 12月、1月、2月開催	124	300	
	その他	2月 タイムス入学おめでとう大会（うるま市） 7月 Spring 共催#Me Too 刑法性犯罪改正キャンペーン 8月 児童虐待、女性の人権 講演会	12	1000	
会報等の発行事業	会報の発行	年2回	6	600	39
	ホームページ等	随時 事務所	3		
	その他メディア	『けし風』寄稿（2回） マスコミ対応（適宜）	3		
その他、目的を達成するために必要な事業	なし				

※上記事業のほか、総会1回、理事会3回 事務局会議30回、労務・税務など。